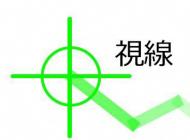




視線解析システム





まばたき



瞳孔径



眼球運動から推測される視線を リアルタイム解析





歩き回る使い方には・・・





視線解析システムの活用例



- ・マーケティング 商品や広告の注目度調査
- ・自動車 歩行者、標識等への視線の移動や わき見、よそ見の検知など
- ・医療/介護 めまい診断による脳卒中の早期発見 TV/エアコンなどの視線によるコントロール
- ・スポーツ/学習 選手・講師の視線の送り方の解析 ディスレクシアの診断・改善補助
- 技能伝承初心者・熟練者の作業分析



消費者の購買行動分析

消費者がどのように商品を見ているのかを解析することで、より効果的なマーケティング 分析を行うことができます。



消費者が商品を買うとき、何を 重視しているのか?

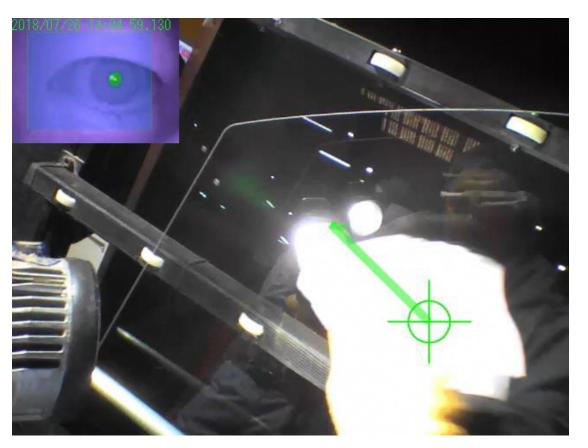
より消費者に購買衝動を訴えかける陳列やパッケージ、POPはどのようなものなのか?



目視検査のモニタリング

検査員がどのように検品作業を行っているのかを解析することで、より効率的な検査手 法を確立することができます。

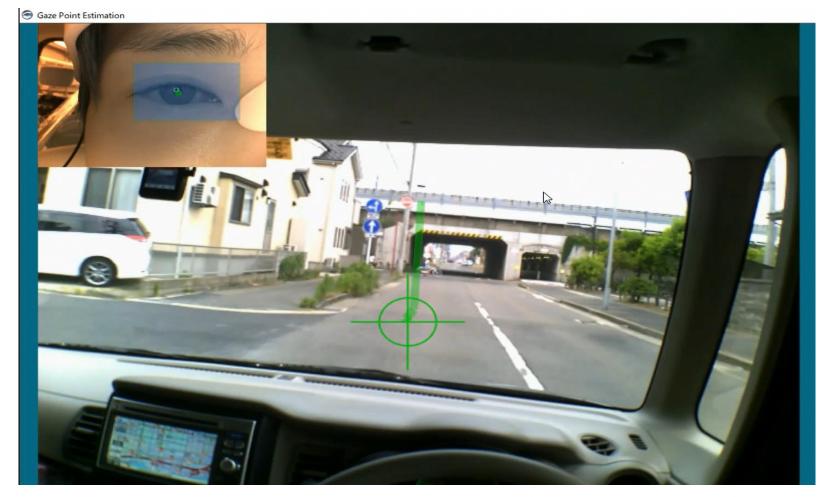






ドライバーモニタリング

ドライバーの運転中の視線を解析。 運転中のヒューマンエラーの研究にお役たていただけます。





視線による文字入力

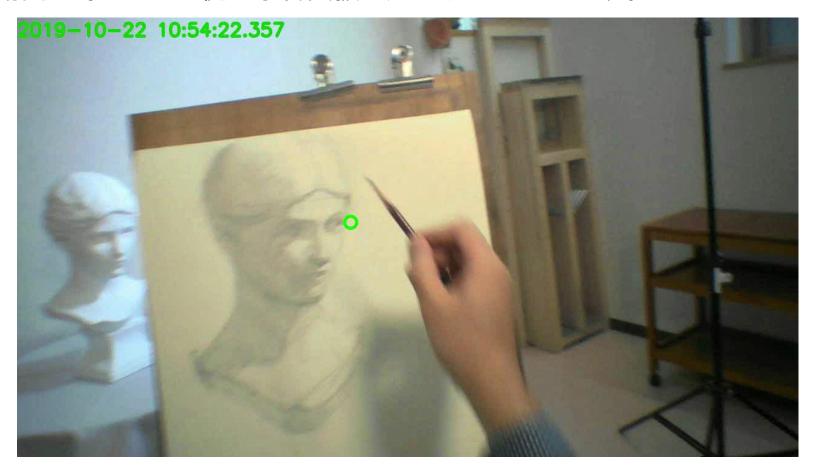
協力会社: オリィ研究所





絵画教室における学習支援

講師がどのようにモデルを見て、絵を描いているのかを解析します。解析 動画はそのまま生徒の学習支援に用いることができます。





技能情報でつながる工場

・ デジタル実演作業指示書プラットフォーム

技術指導者の視線や作業姿勢のデータを基に作成する実演作業指示書

•AI 指導カルテシステム

AIの技術評価により、スキルの可視化・数値化、技能指導や作業の質の向上を図る



システム構成

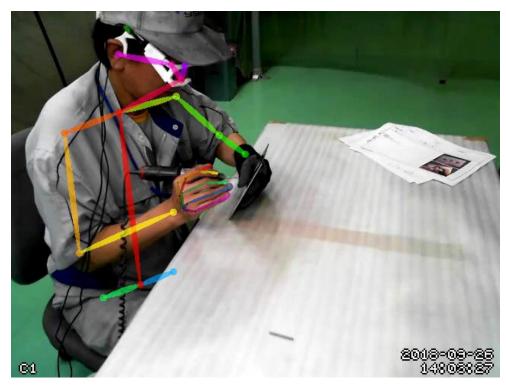




新人とベテランの作業姿勢

作業姿勢を俯瞰カメラで撮影





新人(入社3ヶ月)

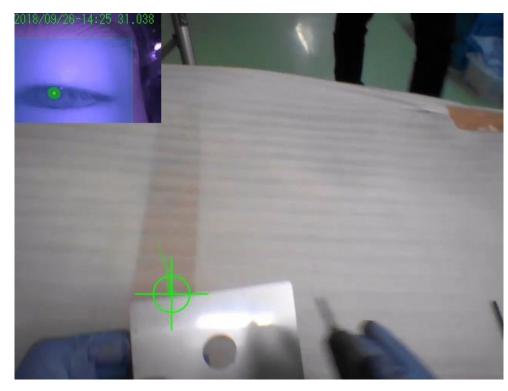
ベテラン(30年)

新人・・・肩に力が入っており、首が曲がっている ベテラン・・・リラックスしており、余計な力が入っていない

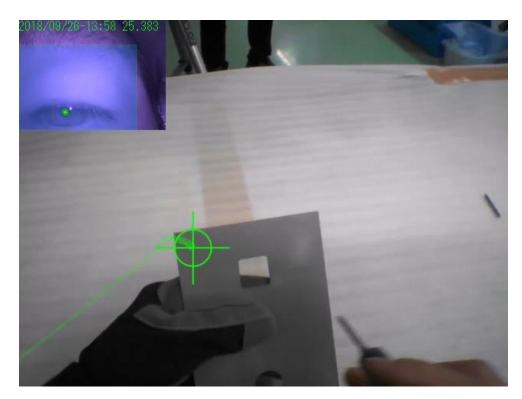


新人とベテランの視線

作業中の視線の動きを解析



新人(入社3ヶ月)

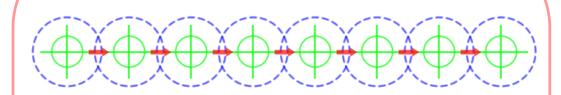


ベテラン(30年)

新人・・・ワークをなぞるように見ている ベテラン・・・視線が飛ぶよう動いている



新人とベテランの眼の使い方の違い



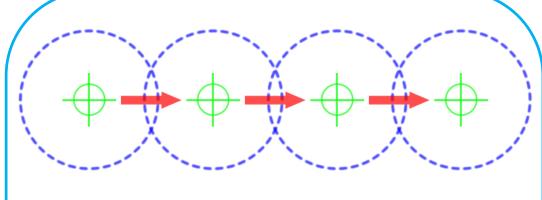
視野が狭いため、視点がなぞるように細かく移動

→中心視・凝視「じっと見て、探す」

常に照合・想起・認知・判断を繰り返している

集中 短時間、高疲労

新人(入社3ヶ月)



視野が広いため、次の視点まで飛ぶように移動

→周辺視・瞬間視「ぱっと見て、感じる」

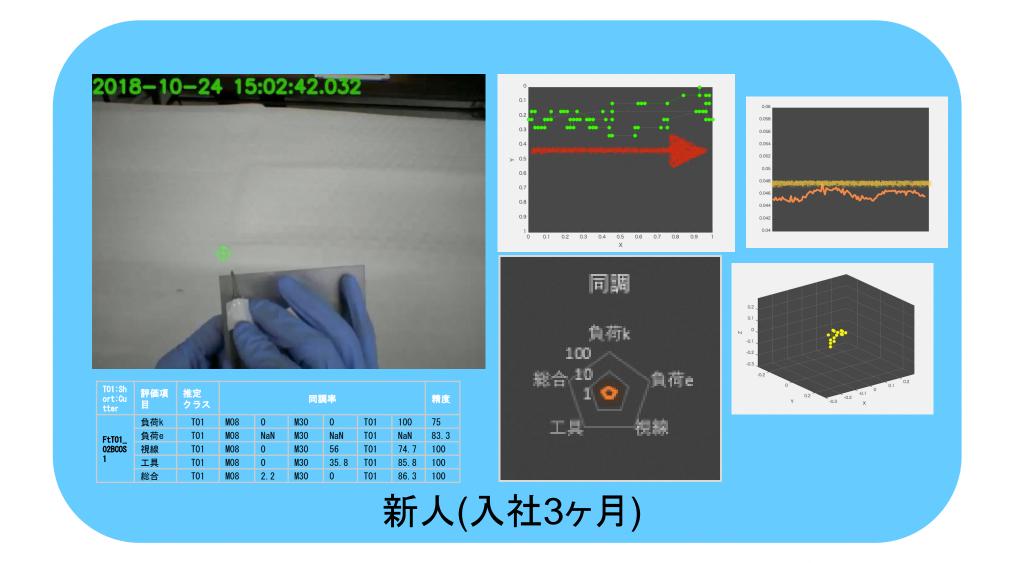
リズミカルである

リラックス 低疲労

ベテラン(30年)

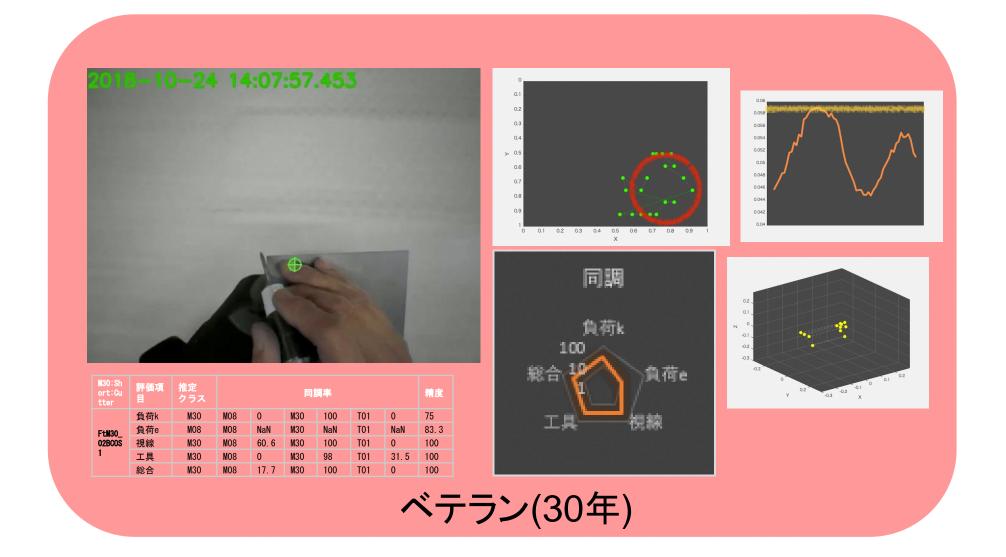


AIによる評価とカルテ





AIによる評価とカルテ





生産現場への応用





瞬目・視線解析による訓練支援と習熟度評価

・視線による訓練支援

検査員の視線を解析し、周辺視目視検査法の習熟度を 評価する

•俯瞰カメラによる訓練支援

検査員の作業姿勢を撮影し、周辺視目視検査法に適し た作業手順や検査環境の構築を図る



視線による訓練支援

視線の動きから目視検査を評価する





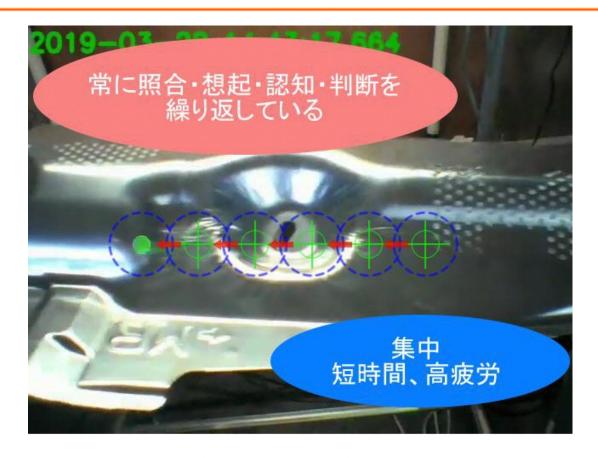
従来法

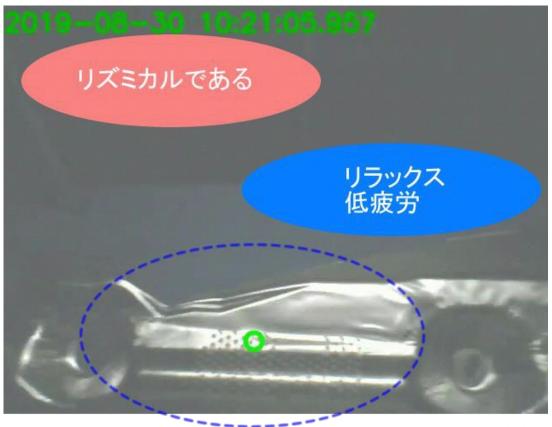
周辺視目視検査法

従来法・・・ワークをなぞるように見ている 周辺視目視検査法・・・視線の動きが限定的



視線による訓練支援





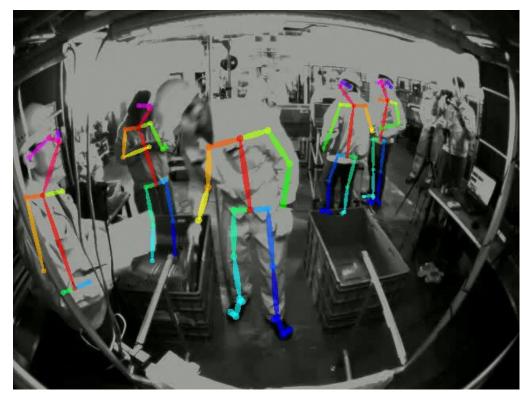
視野が狭いため、視点がなぞるように細かく移動 →中心視・凝視「じっと見て、探す」

視野が広いため、視線を動かす必要がない →周辺視・瞬間視「ぱっと見て、感じる」



俯瞰カメラによる訓練支援

作業姿勢を俯瞰カメラで撮影し、評価する





従来法

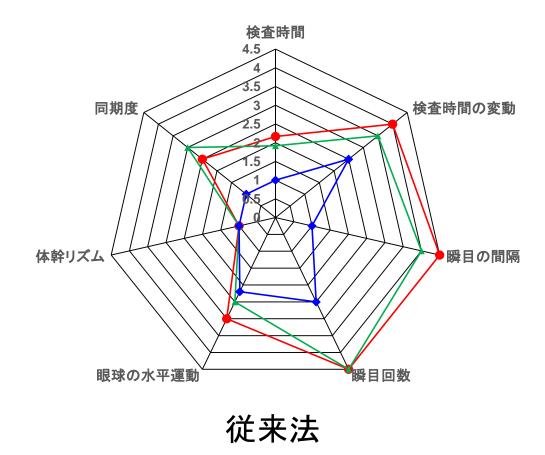
周辺視目視検査法

従来法・・・リズムがなく、首が下向きに曲がっている 周辺視目視検査法・・・姿勢がリラックスしており、余計な力が入っていない



習熟度評価

体の動きや視線から習熟度を評価する



検査時間 同期度 2 体幹リズム 瞬目の間隔

周辺視目視検査法



今後の目標

すべての作業員へ配布し、習熟度評価による







技能データを収集するプラットフォーム作り

クラウドアプリ化を行い、より多くの技能データの蓄積を行う



今後の目標

すべての作業員へ配布し、習熟度評価による

技能向上を目指す





技能データを収集するプラットフォーム作り

クラウドアプリ化を行い、より多くの技能データの蓄積を行う

